

最終講義その1 やりたかったこと

九大に来た2009年頃、霞が関で感じていたのは、強い危機感でした。
つまり、人口減少、地域経済の疲弊、国際競争力の低下です。
その処方箋として政府では、中央集権ではなく地方がそれぞれ海外とつな
がって世界の活力を取り入れる分権改革、道州制が語られていました。
私も国に依存しない自立的な広域経済圏を形成することがその問題を解決す
ると考え、自立的な統治機構を作り、それを担う人材の育成をやりたいと考え、
九州大学にきました。

2009

霞ヶ関で考えていたこと

危機感

- 人口減少
- 地域経済の疲弊
- 国際競争力の低下

政府の処方箋

- 道州制
- 地方分権改革
- 広域地方計画



グローバル経済の活力を取り入れる

- 経済を開放
- 人材の集まるプラットホーム
- それぞれの地域が世界とつながる

自立的な広域経済圏の形成

やりたかったこと

グローバル競争に勝つ九州を実現するために

自立的な統治機構を作る



国の出先機関改革
手上げ方式



自分で課題を発見し政策を企画立案できる人財

政策を発信し関係者を説得し施策を実現できる人財

問題を放置できない熱いパッションを持った志の高い人財

地域政策デザイナーの養成